

(1)児童の体力の現状

○50m走では、多くの学年で県平均を上回っている。
○5年女子は、多くの種目で全国・県平均と昨年度の記録を大きく上回っている。
○5年男子は、多くの種目で全国・県平均と昨年度の記録を上回っている。
○3年男子、5年女子、6年女子のシャトルランで、県平均を大きく上回っており、持久力が優れている。

●ほぼ全ての学年において、握力、ソフトボール投げで県平均を下回っている。
●学年・男女別では、2年女子、4年男子、4年女子、6年男子が多くの種目で県平均を下回っている。
●4年女子と6年男子のシャトルランで、県平均を大きく下回っており、持久力が課題である。
●4年女子と6年男子の立ち幅跳びは、県平均より10cm以上低く、跳躍力が課題である。
●1年男子、2年男子、6年男子のソフトボール投げは、県平均より3m以上低く、投力が課題である。

(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

○意識調査において、「運動が好き」と回答する児童の割合が非常に高く、男女ともに具体目標(90%)を達成できた。
○校内マラソン大会(2回)や、長縄跳び集会(1回)を実施することができた。また、児童会活動の一環としてマラソン練習や体幹トレーニングの励行をした。
○5種目歩走跳運動、ペース走、縄跳びなど、各学年で体育の時間に年間を通した体力づくりの活動を実施した。

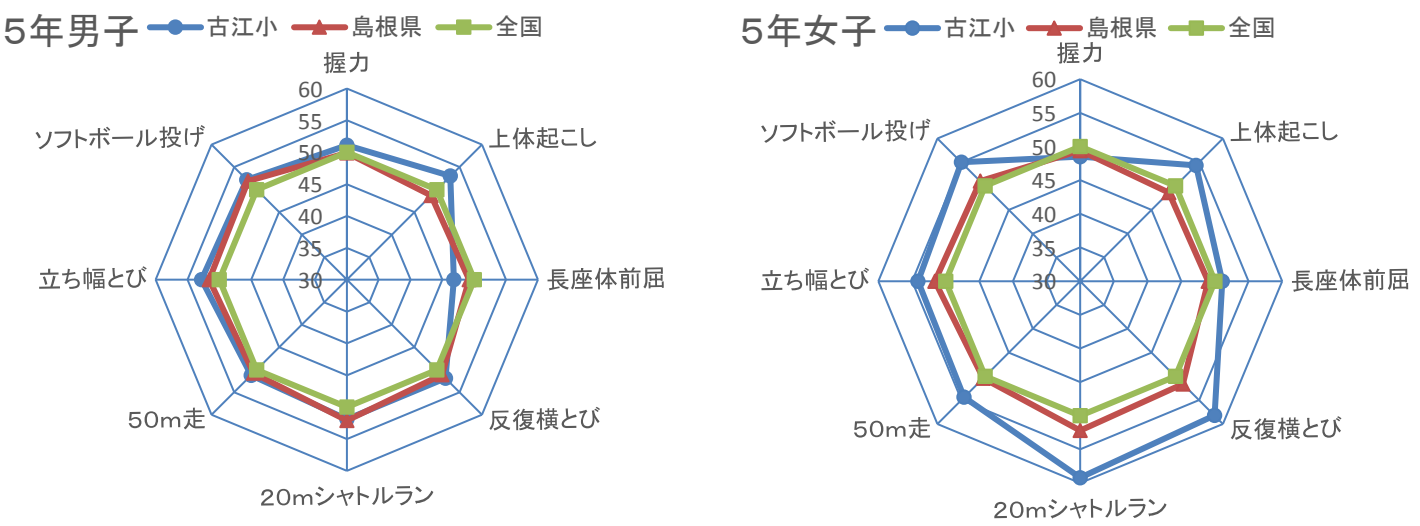
●「体力向上の目標を立てている」と回答する男子の割合がやや低い。マラソンや縄跳びなどの体力づくりの活動において、具体的な目標を設定させ、記録の伸びを感じたり達成感を味わったりすることができるようにしたい。

(3)令和2年度の取組【対策】

- ①学校における取組
- ・全校児童の体力・運動能力調査の結果の詳細な分析
 - ・体力向上のための取組への職員間の共通理解、課題改善のための実践例の紹介
 - ・校内マラソン大会(2回)と長縄跳び大会(1回)の実施、大会へ向けた体力づくりの奨励
- ②地域や家庭との連携による取組
- ・校内マラソン大会に向けての取組の保護者への発信(学校便り等)、完走者全員への記録証配付
 - ・日常の生活習慣について振り返る活動の実施(各学期1回)
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
- ・「すこやかカード」を使用した生活習慣改善への取組(各学期1回)
 - ・すこやか週間における「体幹トレーニングシート」の活用
 - ・「食の学習ノート」を活用した食育の推進

調査実施者数(人) 1年(男子17・女子14) 2年(男子28・女子21) 3年(男子18・女子22)
4年(男子21・女子15) 5年(男子19・女子23) 6年(男子21・女子17)

(4)5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 5年生意識調査の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)

